

千里ライフサイエンスセミナーL5
「マイクロバイオーーム研究：基礎から臨床応用への展開」

1. 日時・場所

2018年2月7日(水) 10:00~16:40
千里ライフサイエンスセンタービル5階 山村雄一記念ライフホール

2. コーディネーター

| | |
|-------------------|-------|
| 大阪大学大学院 医学系研究科・教授 | 竹田 潔 |
| 慶應義塾大学 薬学部・教授 | 長谷 耕二 |

3. 開催趣旨

近年の分子生物学的手法の発達により、従来考えられていたよりも遥かに多様な微生物の世界が広がっていることが明らかとなった。腸内微生物叢（マイクロバイオーーム）は、植物性多糖など宿主動物の酵素のみでは消化困難な摂食成分を発酵分解して宿主にエネルギー源を補給する他、ビタミンやアミノ酸など宿主が合成できない化合物を合成・供与することで、宿主との相利共生関係を維持している。一方で、腸内共生系の破綻は、宿主の生命活動に致命的な影響をもたらすことが示唆されている。本セミナーでは、マイクロバイオーームの解析、宿主-微生物相互作用、さらには、疾患との関わりについて理解を深める機会としたい。これより、マイクロバイオーームを標的とした新たな治療法開発へのきっかけとなることを期待したい。

4. プログラム

| | | |
|-------------|--|-------|
| 10:05-10:20 | はじめに 大阪大学大学院 医学系研究科・教授 | 竹田 潔 |
| 10:20-11:00 | 腸内微生物叢と宿主の相互作用の解析 大阪大学大学院 医学系研究科・教授 | 竹田 潔 |
| 11:00-11:40 | メタゲノムデータから読み解くヒトマイクロバイオーームの生態と機能 早稲田大学 理工学術院・教授 | 服部 正平 |
| 11:40-12:20 | IgA 抗体による常在腸内細菌制御機構の解明と応用 奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科・教授 | 新蔵 礼子 |
| — 昼 食 — | | |
| 13:30-14:10 | 腸内 D-アミノ酸代謝と腸管粘膜防御 慶應義塾大学 医学部・専任講師 | 笹部 潤平 |
| 14:10-14:50 | 腸管マルチエコシステムによる共生と感染制御 東京大学 医科学研究所・教授 | 清野 宏 |
| — 休 憩 — | | |
| 15:10-15:50 | 多発性硬化症における腸内細菌叢の役割 (国研)理化学研究所 統合生命医科学研究センター グループディレクター | 大野 博司 |
| 15:50-16:30 | 腸内細菌由来の代謝物による関節リウマチの制御 慶應義塾大学 薬学部・教授 | 長谷 耕二 |

16:30-16:40 おわりに

慶應義塾大学 薬学部・教授

長谷 耕二

5. 参加費：無料

6. 定員200名（定員になり次第締め切り）

7. 申込方法

- 1) 氏名、勤務先、〒所在地、所属、電話番号を明記の上、E-mailでお申し込み下さい。
- 2) 事務局より送付する参加証（E-mail）をセミナー開催当日に受付でご提出下さい。

8. 申込先

公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団 セミナーL5担当 谷山 佳央
E-mail: tkd@senri-life.or.jp (TEL: 06-6873-2001、FAX: 06-6873-2002)

セミナーの詳細や変更等につきましては、下記の財団web siteにて随時ご案内しておりますのでご覧下さい。(財団web site: <http://www.senri-life.or.jp/>)

以上